写真文化首都

しがしかわ 写真の町

議会だより

キトウシ森林公園の桜

第１回定例会を開催……２～４
第１回臨時会（初議会）……４
委員会報告……５
ここが聞きたい、一般質問に６議員が登壇……６～11
議会構成……12
新議員紹介・全員協議会……13～16
定例会質疑……17
審議結果……18・19
議会日誌・編集後記……20

No.165
平成27年５月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

第１回　定例会を開催

- 第１回定例会を、平成27年３月10日から17日までの８日間、開催しました。
- 平成27年度一般会計・２特別会計の予算案、各種条例案・報告など、および平成26年度一般会計・２特別会計の補正予算案、議案24件について審議し、条例案１件を除いて、原案可決または承認・報告済としました。
- 東川町に貢献された方々を表彰しました。
- ３月31日に臨時会が開催され、２月28日の議員選挙で当選した議員の初議会になりました。議会構成を決めて、平成27年度補正予算を可決しました。

平成27年度予算

平成27年度一般会計・２特別会計予算案について、総務文教・産業建設常任委員会に分かれて、３月11・12・16日に議案審議を行いました。

町長・議員選挙のため、骨格予算としています。

●一般会計

総額59億１２００万円、前年比６億８９００万円、10・44％の大幅減は、骨格予算のためです。

２特別会計との総合計は、64億６４００万円、前年比６億５１８０万円、９・16％の減です。

歳入

①町税

（約７億９４００万円）

個人町民税は、給与・農業所得の減により約１７００万円減、税率改正・木材業不振により、法人町民税約１６００万円減です。

②地方交付税

（28億２１００万円）

普通交付税は２億２００万円増、公債費（起債償還の補てん額）が多額になっています。

特別交付税は、日本語留学生の支援拡大で１億５千万円増です。

③基金からの繰入金

（約１億１５００万円）

約９７００万円減です。昨年は、小学校建設などで、多額を取り崩しました。今年度、公共施設整備基金からの繰り入れは約６７００万円減です。

歳出

①写真の町国際化推進事業　（約４２００万円）

新規に高校生の国際交流写真フェスティバル事業などを開催します。

②国際観光誘致事業

（約２８００万円）

スノーボード国際大会委託料が含まれています。

③外国人留学生支援事業

（約１億１９００万円）

総額では約３億円の予定です。

④国民健康保険推進事業

（約３億３５６０万円）

大雪地区広域連合の負担金が約１６００万円増です。

⑤公債費

（約９億７８００万円）

１億６３００万円増で、借金の返済が多額ですが、辺地債は８割交付税補てん、緊急防災減災事業債は７～８割補てんです。償還額が多額な分、交付税も増えています。

償還のために積立てた減債基金を取り崩します。公住の使用料などの財源を差し引くと、町民の税金で賄う額は、15％の約１億４千７００万円になります。

●公共下水道特別会計

１億９２２０万円で、昨年より２１３０万円増です。南町１丁目の宅地造成に伴う下水道整備に３５７０万円を予定しています。

●町立診療所特別会計

３億５９８０万円で、昨年より１５９０万円増です。一般会計からの繰入金は約１億５千万円で、全体の27・５％です。

国からの交付税分を引くと、町の実質負担は、約９９００万円になります。

●総括

経常一般財源は、約29億円、予算段階で経常収支比率83・２％。前年度より1.8ポイント悪化しています。75％以下が望ましいとされていますが、最近ほとんどの市町村が80％を超えています。

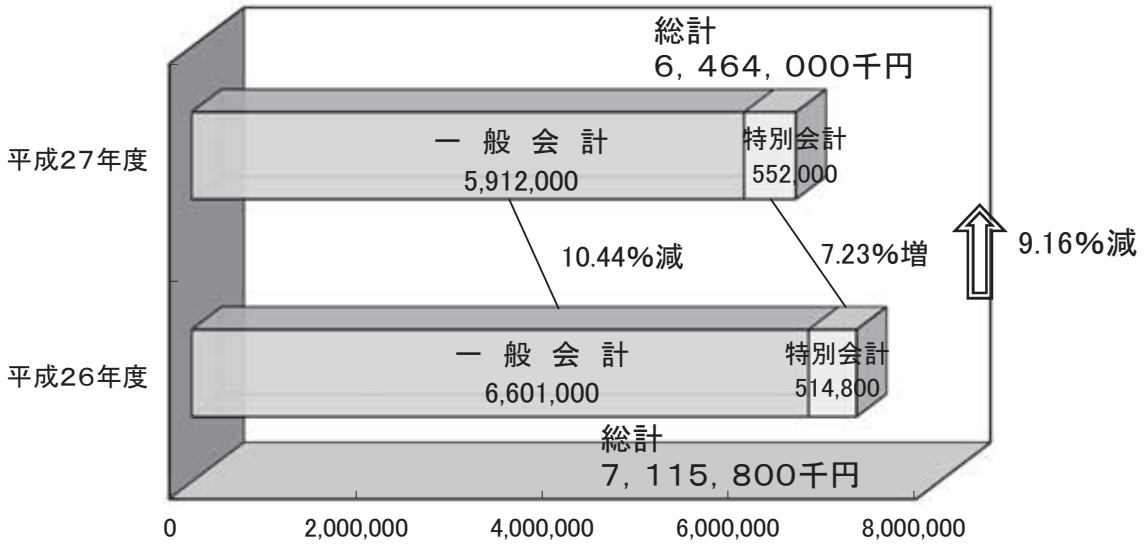
基金の積立金は、一般会計約21億６２００万円。特別会計も合わせた基金の総額は、23億３００万円の見込みです。

平成27年度 予算特集

平成27年度 各会計予算総括表

（単位：千円）

区分		平成27年度当初予算 A	平成26年度当初予算 B	比較 増減額（A－B）＝C	比較 増減比率（C／B）＝D
一般会計		5,912,000	6,601,000	▲ 689,000	▲10.44%
特別会計	公共下水道事業	192,200	170,900	21,300	12.46%
	国保町立診療所	359,800	343,900	15,900	4.62%
	特別会計合計	552,000	514,800	37,200	7.23%
総合計		6,464,000	7,115,800	▲ 651,800	▲9.16%



一部事務組合、広域連合への負担金額（一般会計内数）

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減比率
大雪地区広域連合	335,562	319,441	16,121	5.05%
大雪葬斎組合	5,831	5,653	178	3.15%
大雪清掃組合	94,659	64,343	30,316	47.12%
大雪消防組合	200,272	186,564	13,708	7.35%

定例会

平成26年度補正予算

●一般会計

事業確定・執行残などの減額補正と差し引きして、約50万円増額です。総額は約70億1600万円で、主なものは次の通りです。

①振興公社補助金
（2700万円）
パークゴルフ場、国際交流会館寮費の収入減などで、補てんします。

②地域活性化特別対策費
（160万円）
ラトビア文化の紹介と、東川町のPRのために、ラトビア民話集の原画コンテストを開催します。

③地域住民生活緊急支援
（約5300万円）
国の地方創生交付金事業です。町内の商店・ホテルなどで利用できる、プレミアム付商品券を約2200万円分発行します。5000円の商品券で6500円分の買い物ができます。

君の椅子関連・次世代連携のための異業種交流・不妊治療・野菜ハウス整備・起業支援事業などに約3000万円です。

④図書購入費
（約170万円）
町内の子どもの疑問・質問に、資生堂名誉会長福原氏他7人が回答した「東川町子ども何でも相談室」が出版されたので、全小学校生に配布します。

●診療所特別会計

（460万円）
患者が増えて、医薬材料費などが増です。診療収入全体で660万円増えたので、一般会計の繰入金を200万円減らしました。

総額は約3億5400万円です。

●写真文化首都東川町まちづくり基本条例

条例制定の議案に対して、条例審査特別委員会を設置し、全議員で審議しました。

議員間での協議が不十分であり、住民への説明などが十分なされていないため、本会期中に結論を出さず、継続して審議が必要としました。

現議員の任期が3月30日のため、継続審議ができません。審議未了として、廃案になりました。

●条例改定

①国の「子ども・子育て支援関連3法」に合わせて、保育設備及び運営基準に関する条例を整備しました。

②学童保育の保育料、一律5500円を見直して、所得割にしました。

③教育委員会制度の改正により、教育長が常勤の特別職となります。責任も重くなることから、報酬を、副町長の報酬と同額に引き上げます。ただし、現在の教育長任期の平成28年9月30日までは、現行のままです。

第1回臨時会

（3月31日）

初議会

平成27年2月28日執行の議会議員選挙で当選した議員の任期は、平成27年3月31日から4年間です。

初議会を開催し、議会構成を決め、補正予算を審議しました。

●議会構成

新議長選任まで、先例に従い、最年長の堀井議員が仮議長を務めました。

議長・副議長は議員の互選です。副議長は同数票となり、くじ引きになりました。

●議長選挙結果
当選　高橋　昭典　12票

●副議長選挙結果
当選　大澤　聰　6票
鶴間　松彦　6票

（議会構成は12ページ）

●26年度一般会計補正

①特別交付税
（約3400万円）
3月交付の留学生に対する追加の交付税です。

②予防接種事業
（約130万円）
診療所の予防接種が、多かったための増額です。

③基金積立金
（約770万円）
財政調整基金・減債基金・株主基金に積み立てしました。

委員会報告

総務文教常任委員会

東川小学校移転後の状況について

◎調査日
平成26年12月19日

◎調査内容
学校の状況・児童の登下校・学校生活の状況・学習支援、特別支援・施設全体

◎調査の意見
10月に校舎新築移転後2ヵ月余りが経過した。
素晴らしい施設や環境を有効に活用しようと教職員一丸となって努力されていることが伺われた。心配されたオープン教室についても、子ども達は比較的落ち着いて学習している様子であり、教室と廊下のワークスペースもそれぞれ工夫して活用されている。
施設的には、実際に使用してみて機器・設備において改善すべき点があるようなので、不具合や不都合な点は速やかに改善、対応されることを望む。
当面の課題として、通学路の安全確保（横断歩道や信号機の設置など）と冬場の児童のバス対策については、最優先課題として関係機関と調整し、対策を講ずるよう努力いただきたい。

議会報編集特別委員会

2年間の活動報告

1編集の方法
①発行は年4回とし、本会議を中心に編集にあたった。
②一般質問及び議案に対する質問・質疑・答弁等は、要約して編集した。

2掲載事項の主なもの
①行政報告
②一般質問及び答弁
③議案等の主な質疑・審議結果
④常任委員会の所管事務調査結果及び活動報告
⑤請願・陳情・意見書の審査結果等の報告

3委員会の活動経過及び結果
平成25年3月6日招集の東川町議会第1回定例会において、本委員会が設置され、同日、選任された委員6名により第1回目の委員会を開催し、正副委員長を選出した。
これまで25回の委員会を開催し、第157号から第164号まで8刊114頁を発行した。
議会報の編集を通じて、町民に開かれた議会の必要性を深く感じ、議会活動を住民に知らせる上で議会報が大きな役割を果たしていることを認識したところである。
今後とも継続して発行すべきと考える。

表彰

全国町村議会議長会表彰規定に基づく自治功労者（町村議会議長として7年以上・町議会議員として15年以上の在職功労者）表彰を、第1回定例会で伝達しました。

○議長7年以上在籍して功労があったもの
浜辺　啓議長

○議員15年以上在職して功労があったもの
藤原　啓子議員

ここが聞きたい一般質問

（6議員が登壇）

問 写真文化首都事業は

答 新規に高校生国際写真フェスなど

長峰　毅八

質問　平成26年度に「写真文化首都宣言」がなされました。どのような事業展開を考えていますか。

町長　新規事業として、高校生国際交流写真フェスティバルを開催し、国内・海外に情報発信します。

事業は、これまでの国際写真フェスティバル、写真甲子園の充実を図りながら、住民写真の保存事業、収蔵作品・図書・カメラなどのコレクション事業など、予算に応じて実施します。

再質問　東川も写真業界に貢献しています。

写真の拠点企業などの誘致を検討してはいかがですか。

町長　何らかの形で誘致して欲しいと、前からお話していますが、非常に難しいようです。今後も取組みが必要と考えています。

問 高齢者の生きがい作りを

答 学び・スポーツ環境を作る

質問　高齢者の生きがいづくりや、健康寿命を高める対策などを伺います。

町長　キトウシ高原ホテルや旧東川小学校を新しい社交の場としての機能を充実させ、生きがい支援を図る考えです。

健康増進では、シニアクラブ会員を対象とした健康相談、介護予防講座やしらかば学級、健康体操、自然体験講座、森林ウォーキングの実施などに取り組みます。

再質問　生きがいづくりは、行政がやるもの地域がやるもの、各行事に役割や責任を持たせるなど、気楽な居場所づくりも必要と思います。

町長　生きがいを持って働くということも健康増進に繋がっていきますし、学ぶ機会やスポーツの機会の環境を行政が作り、各自の判断で参加することが大切ではないかと思います。

問 予防医療、健康寿命等の対応は

答 生活習慣病の予防を重視

質問　予防医療体制、健康寿命対策、未病者対策などの課題について伺います。

町長　生活習慣病の1次予防に重点を置き、特定健診の受診督励、後期高齢者の特定健診に無料の胸部写真を追加し、診療所で受診できます。

胃がんピロリ菌感染検査は、27年度から40歳以上の町民に一部助成します。

医療・保健・福祉、さらに社会教育分野と連携を図り、予防医療を充実させたいと考えています。

再質問　福祉活動を支援する町民の組織を作ってはいかがですか。

町長　住民の皆さんがそれぞれの意思で参画することが、大変重要と思います。

一般質問

問 4期目の抱負は
答 住民福祉の向上を

浜辺　啓

（一問一答方式）

質問　4期目に向けての抱負、方向性をお聞きします。

町長　住民の繁栄、住民の安全、安心、住民の幸福が私どもの使命です。

全ての分野についてその方向で進めていくことに努力したいと考えています。

質問　町づくり計画の中でも美辞麗句が並び、具体的なものが示されません。

マクロに「住民福祉」ではなく、具体例を幾つか示してください。

町長　東川の様々な歴史の中で、農業、林業などの一次産業を大切にし発展させていく。その大切な物を写真文化として残して未来に伝えて行く事が大事だと思います。

もう1つは、木工家具・クラフト関係の工房など企業の方々の発展が、雇用の拡大につながると思います。

3つ目は観光であり、大雪山です。大雪山にも様々な文化がある訳で、映画や、小説になった、随筆にも書かれている、写真にもなっている。これらを価値として更に観光の振興に努めていく必要があると思っています。

質問　地方が元気になる手段の一つとして、交流人口や観光客を増やし、一次・二次・三次産業がバランスよくあることが重要です。

商工業・観光に対して、独自の支援策が必要ではないですか。

町長　多くの方に来て頂いた時に、東川で提供できるサービスが少ないのが現状です。

商工会や観光協会が中心になり、来られたお客さんの五感を満足できるサービスを提供していく事が今後重要です。

行政と民間の方々を含めて連携をして行きます。

質問　将来を担う若い人達にどう刺激を与えて、頑張る意欲を目覚めさせるかが大事なことです。

起業化支援プラスアルファーの政策的なものをお考えですか。

町長　若年の農業者の組織率は高いが、商工会・観光協会は低いと言われています。各団体で魅力的な運営をしてほしいと思います。

地域創生の計画づくりでは、農協・商工会などの若い人たちの意見も聞いて町づくりをすすめることとしています。

自ら考え・自ら行動し、私たちに提言いただけることを期待しています。

一般質問

問 住民投票について

答 提案を具体的に問うもの

藤倉　智恵子

質問

町にとって大きな財政負担を伴う事業を実施する場合、町民の様々な不安を払拭するために、公聴会の開催や住民投票を行うことについての考えを伺います。

町長

執行機関の長は町民の声を聴き、決断し、議会へ提案する使命があります。

町民の声を聴く方法は様々な形があり、平素の業務、また様々な機会や方法を通じて聴いてきていますし、議員各位からも様々な声を聴かせて頂いています。

ご指摘の、町民に不安を及ぼすようなことはなかったと認識しています。

住民投票ですが、仮に住民投票を行う場合には、提案を具体的に問うもので、二者択一のような形での問いかけは無責任、責任放棄であると思っています。

執行機関の長において、熟慮の上提案したものが住民投票により賛同が得られなかった場合には、住民からの不信任と解するのが適正であると考えています。

さらに重要なことは、提案する執行機関の長も議決機関の議会も「住民福祉向上」という自治の基本にたって職業・身分・性別などによって偏重することなく、個人感情を捨てて公平かつ自律の視点で住民の付託に応える姿勢にあると考えています。

問 公社の負担は

答 効率的な経営を目指す

質問

①キトウシ高原ホテル、キャンモアスキー場など、公社の負担が年々増えているのではありませんか。

②町民の雇用確保を図りながら、運営実績のある民間企業に委託することも一つと考え提案します。

町長

①キトウシ森林公園の管理運営は、指定管理制度のもと東川振興公社が中心となって行われていますが、昨年、キトウシ高原ホテルを経営していた民間企業が、経営継続が困難となり町が買収し経営を引き継ぎ、また、キャンモアスキービレッジは町から民間企業に貸出し運営していたものが戻ってきました。

キトウシ森林公園全体の効率的な運営を考慮し、引き続き東川振興公社で運営しています。

ホテルは昭和59年、スキー場は平成3年にリフトを建設し、施設が古くランニングコストもかかるので、近い将来改修が必要です。

②民間企業に委託することも一つの方法との提案がありましたが、確かに選択肢の一つではあります。

今、キトウシ森林公園内の施設すべてが管理者の意向に沿って運営が可能となりました。

この状況で数年程度運営し、経営の安定化のために何が必要で、どのような運営を図る事が良いのかなどを検証してみたいと考えています。

老朽化した施設ですが当面、町民の健康増進・憩いの場として利活用するなどしながら、効率的な経営を目指していきます。

一般質問

問 環境保全に積極的な森林管理を

答 町有林など適切な管理をします

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問

東川町でもこの数年ゲリラ豪雨により、河川の決壊や土砂の流出により、人命が失われ田畑に被害が及んでいます。

こういう時こそ町が森林の多面的機能を生かして、森林施業をしていただきたいと思います。

町は株主の森、ファイターズの森など積極的に植樹に取り組んでいます。現在の植樹場所はこの数年で無くなると思います。次はどの場所を考えていますか。

また町有林は670ha程ですが、積極的な森林整備・管理について伺います。

町長

国の木材に対する政策は、ここ数年地球環境問題やエネルギー問題があり、生産材の活用を含めて積極的だと思います。町有林は一般の方々や企業と連携し森の造成をして、東3号の土取場の跡地を植林に利用しています。そこの管理を適正にしていく考えです。

産業振興課長

東3号の造林空き地はあと5反程度で終わる状況です。

今後は、昨年造成した株主の森の隣のカラマツ林が伐期を迎えていますので、伐採して場所を確保していく考えです。

問 下草刈りの補助を

答 状況を把握し検討

質問

林業は50年100年という長期にわたる事業であり、先行投資的な作業が必要で個人所有者としては限界があります。

国の制度では一定の補助金を出しており、町も上乗せして支援していますが、現在は下草2回刈りに1ha当たり8千円の補助がありますが、1回刈りには補助がありません。

1回刈りにも補助を出して、支援する考えはありませんか。

町長

1回刈りへの上乗せ補助について、内部でよく状況把握し検討したいと思います。

問 林地残材処理に補助を

答 薪燃料、環境対策に支援は可能

質問

国は再生可能エネルギーの利活用を促進しています。道内でも大型のバイオマス発電設備が計画され、その熱源確保として林地残材が重要な資源とされています。

しかし林地残材の処理には、大型機械も必要で価格も低価格であり、採算が取れない状況です。

林地残材の処理に町として支援する考えはありませんか。

町長

林地残材の処理のために機械で油化石燃料を使い、製品にするために油を使うことが、本当に地球環境の保全になるのか、検証も必要です。

質問

町は薪ストーブに補助していますが、薪として林地残材を利用することについて、支援する考えはありませんか。

町長

薪は最大の蓄電器、エネルギー器と言われています。それに賛同して薪ストーブの設置に支援をしています。

薪に活用できる林地残材であれば、環境対策にもなるので支援は可能です。

一般質問

問 特定健診受診率の向上は

答 保健指導や医師と連携し受診勧奨を行う

薦田　敏次

質問

①過去5年間の特定健診受診率と保険診療の受診状況の推移は。

②受診率を向上させるための考えを伺います。

町長

①過去5年間の受診率は、21年度が38・3％、22年度が38・4％、23年度が37・9％、24年度が36・1％、25年度が38・0％と40％を下回り、特に40歳から64歳までの受診率が30％を下回っています。

受診状況の推移は、平成23年度で保険診療を受けた1，186世帯2，061人、受けなかった100世帯329人、平成24年度受けた1，180世帯2，044人、受けなかった108世帯336人、平成25年度受けた1，178世帯2，001人受けなかった102世帯316人となっています。

②未受診者、過去3年間のデータが悪かった受診者で、本年度未受診者は、優先的に家庭訪問し、適切な保健指導により健診の必要性などの理解を求めます。

慢性疾患等で診療所に通院している人は、医師と連携して受診勧奨し、受診率を向上させ、生活習慣病等の予防につなげたいと考えています。

再質問

岡山県のS市では健康維持・生活習慣病を防ぎ、医療費の高額化抑制を目的に健康推進奨励金を渡す制度を実施して受診率を向上させています。

保険診療を受けていない人に特定検診を受けてもらえるようなものを検討すれば、目標の40％は達成できるのではないかと思いますが、そのような考えがないか伺います。

町長

岡山県は、健康奨励金1世帯1万円ということでした。

もし、実施をするとすれば、40～65歳の節目の時に、検診をある程度義務化して、督励していくということは可能と思います。

健康のチェックにもつながりますので、仮に100万円の財源があるとすれば、国保の被保険者について検討していくということは有りうるかと思いますので、ご提言を踏まえて前向きに検討していきたいと思います。

問 高齢者の間口除雪は

答 基本は現状のままで

質問

家族と同居する高齢者の方が、間口除雪を行っていると聞きますが、今後、高齢者ハイヤー料金助成事業と同じような対応を考えてみませんか。

町長

現行の間口除雪サービスは、家族と同居している場合、家族が除雪することで生活用道路が確保できるので、利用の対象外としています。

間口を共有している場合は、今まで通りで良いと考えています。

同一敷地内でも間口を共有していない等、家族が除雪できない特別な事由があれば、個別に対応したいと考えます。

再質問

同居家族が朝早く仕事に出掛け、夜も遅く帰ってくるため、除雪された雪を高齢者が除雪せざるを得ない、そういう状況の高齢者への対応について再度お伺いしたいと思います。

町長

朝早く除雪車が通った後すぐ、間口の除雪をするという家庭もあるし、帰って来てから行うということもあると思いますが、それは家庭でよく検討してやって頂くことが良いと思います。

基本は、公道は町、間口は家庭ということをベースにおきながら高齢者世帯等については間口の除雪を行うという、今までの制度で良いと思います。

一般質問

問 留学生アドバイザーが必要

答 関連団体・ボランティアで対応

藤原　啓子

質問

東川の町内に日本語を学ぶアジアの若い人たちが増えています。

町内の色々な団体が、町民に参加を呼びかけるイベントがあります。

留学生の個人参加をどう受け入れるか、不都合があったとき対応できるのか、受け入れる側は経験がないので不安です。

色々な行事に、積極的に参加していただくのは喜ばしいことで、留学生と町民との自主的な交流も大切と思います。

留学生と町民のお互いに不慣れな交流をサポートするための「アドバイザー」が必要と思いますが、いかがですか。

町長

留学生に東川に来てもらう意義というのは、この土地の人たちと触れあい関わって、生きた日本語を学ぶことにあると認識しています。

具体的な計画があれば、地域活性課に連絡を頂き、地域活性課の方で計画して北工学園などと連絡をとりたいと思います。

再質問

イベントに自発的に留学生が参加できるよう、チラシに目配りして、留学生に分かりやすくするようなアドバイザーが身近にいるといいです。

町長

留学生にイベントの案内をして、お世話をするボランティアの奨励も図っていきます。

問 産後ドゥーラの相談活動に支援を

答 連携しながら推進する

質問

出産前後の心身不安定なママを支える「ドゥーラ・カフェ」が町内で開催されています。

より相談しやすい体制づくりが自発的に始まったのは画期的です。

このカフェに、町も協働・支援しませんか。

町長

町は、子育て支援・相談を地域子育て支援センターで実施しています。

産後間もない時期に、育児ストレス・産後うつ状態・育児ノイローゼなど、子育てに強い不安や孤立感を感じる家庭への育児支援家庭訪問事業も実施しています。

「ふれ愛の郷」に出産後の育児不安などの相談に応じる「産後ドゥーラ」認定を取得した施設長が「ドゥーラ・カフェ」を開設したので、町も連携を考えています。

「ふれ愛の郷」の運営費に支援しているので、その中でと考えています。

再質問

「ドゥーラ・カフェ」は、交流の場、意見交換の場です。

ドゥーラという出産前後のケア専門相談員を配置することは、意義のあることと思われますがいかがでしょうか？

母子手帳の発行の時に、ドゥーラ相談員を案内することは、母親を孤独にしない一つの支援になると思います。

町長

町にも支援員がいますので、連携しながら進めていく考えです。

ドゥーラ・カフェ（ふれ愛の郷）

新しい議会構成を決定（第1回臨時会）

東川町議会　議会構成

（H27・3・31～H31・3・30）

議　長　高橋昭典
副議長　大澤　聰

総務文教常任委員会

委員長　鶴間松彦
副委員長　正満正義
委　員　藤原啓子
安原芳博
畑中雅晴
大澤　聰

産業建設常任委員会

委員長　由川英二
副委員長　藤倉智恵子
委　員　薦田敏次
堀井義鋪
能登暢吉

議会運営委員会

委員長　薦田敏次
副委員長　藤原啓子
委　員　鶴間松彦
由川英二
大澤　聰

議会報編集特別委員会

委員長　藤原啓子
副委員長　薦田敏次
委　員　鶴間松彦
堀井義鋪
能登暢吉
畑中雅晴

一部事務組合（消防・清掃・葬斎）

大雪地区広域連合議会議員

高橋昭典
大澤　聰
鶴間松彦

その他関係機関の委員

議会選出監査委員　藤原啓子
議会推薦農業委員　藤倉智恵子

議　長
高　橋　昭　典
昭和30年８月20日
当選　３　回
党派　無所属

この度、町議会選挙において多くの町民の皆様のご支持、ご支援を頂き三期目の当選をさせていただき、厚くお礼を申し上げます。

また、初議会において議長に選挙されました。議会の代表者及び事務統理者としての立場と、会議の主宰者としての立場があるとされています。身の引き締まる思いと、責務の重大さを痛感しています。

議会活動は住民自治の原動力として、東川町の発展・住民福祉・幸福に大きく貢献しなければならないと決意するところです。複雑な地域社会問題を、公開で討議し、問題点や対立軸を明確化して、町民の意思を合意形成することも議会の存在意義ではないかと考えます。

議会は、多様な人から構成され、日々の暮らしの中の問題を多角的・複眼的に検討します。合議体としての議会は、多様な視点から問題をえぐりだすことによってよりよい政策を町長とともに進めなければなりません。

新たな議会像を見据えつつ、町民と歩み住民福祉のために活動する議会となるよう最善を尽くしていきます。

ご理解・ご協力お願い致します。

副議長
大　澤　　聰
昭和22年４月２日
当選　４　回
党派　無所属

私事この度の町議会議員改選に当たり、町民の皆様方のご支持を頂き、四期目の当選の栄に浴することが出来ました。誠に有りがたく心より感謝とお礼を申し上げます。

皆様もご承知の事と存じますが、町長部局（理事者）は町政について提案し、執行する責務があり、議会は町の監視機関として役割を果たすため、常に町民の立場から公正かつ公平で、民主的な町政運営がなされているかを検証し、町民に明らかにする事です。

町、議会、町民すべての人々は、第一に安全で安心して暮らせる町を築くことだと思います。

この様な町づくりには健全財政を維持し、福祉の充実、子育て対策、教育、農・商・工業・観光の推進、医療、環境整備等しっかりと町民の声を聞き議会で提案し、町民が要望している事を見極めて行きたいと思います。

東川町は、最高の立地条件にあります。活き活きとした故郷づくりに皆様方と共に行動していきたいと思います。

今後共に暖かいご声援を心よりお願い申し上げます。

議　員
由　川　英　二
昭和23年６月26日
当選　４　回
党派　無所属

この度、町議会選挙で多くの住民からの御支持、御支援をいただき、四期目の当選を果たすことが出来ました。誠にありがとうございます。

振り返りますと、つかの間の三期十二年間ではありましたが、多くの町民と接し、福祉及び住民の生活並びに農業に対しても、多くの要望や御意見を賜りました事に対して、深く敬意を表するものであり、住みなれたこの町をさらに良くする為に努力を惜しまずにやっていく所存であります。

今回、産業建設常任委員長を仰せつかりました。東川町の産業、経済の振興の為に全身全霊を注いで邁進していくしだいです。

そして又、福祉、教育、子育て支援の為にも奮闘していきたいと思っております。

東川町の豊かな自然の恵みを大切に守り、農地、水、森林等の環境の保全に誠心誠意努力していく所存であります。

今後ともよろしくお願いします。

議　員
薦　田　敏　次
昭和29年４月２日
当選　２　回
党派　公明党

この度、町議会議員選挙において多くの町民の皆様のご支持、ご支援を頂き二期目の当選を果たすことが出来ました、誠にありがとうございました。

新しい議会構成では、産業建設常任委員会に選任され、農林業、都市建設、産業振興関係を主に担当させていただきます。また、議会運営委員会委員長の大任を仰せつかりました。

わが議会において首長と共に町民に対して直接責任を負うものとし、議論を深めるためにも議会の運営がスムーズに行くように努力します。

美味しい水、澄んだ空気、肥沃な大地と美しい景色や環境を守りながら、観光の発展や商店街の活性化・工業の発展ができるように町民の皆様のご意見をよく聞き、行政に反映させられるように議会に取り組みたいと思います。

また、行政の基本は福祉の向上と明るく安心して暮らせ、活力ある町づくりのため、高齢者の皆様方・子供たちや障害者の皆様方からのお声を大切にして議会活動を行っていきます。

引き続き「活き活きとした故郷づくり」のため皆様と共に考え、共に行動したいと思っています。

今後とも町民の皆様方のあたたかいご支援を心よりお願い申しあげます。

議　員
鶴　間　松　彦
昭和22年５月16日
当選　４　回
党派　共産党

この度の町議会選挙に当たりまして、多くの皆様のご支持・ご支援により当選させていただきました。厚くお礼申し上げます。

４期目を迎えて、厳しい日本の状況の中で、子育て支援と、医療・福祉・介護の充実、町民生活を守る取り組みを進め、「住んでよかった」と言えるような街づくりに全力を傾けたいと思います。

また、町民の皆様に様々な情報をお知らせし、ご意見・ご要望をいただきながら、町政に反映させ「住民が主人公」の町政、信頼される議会づくりに向けて取り組みたいと思います。

新しい議会では、総務文教常任委員長の大役をいただきました。さらに大雪広域連合や消防、清掃など一部事務組合の議員となり、町民生活に直結した議会活動を担当します。引き続き、子供たちが心身ともに健やかに育ち楽しい学校生活が送られるよう、学校教育の充実・発展に取り組んでいきます。

また、国保料の引き下げ、介護の充実などを目指して、議論していく所存です。

東川町は今、町民の皆様の頑張りによって、全国から注目されています。世界に誇る大雪山、旭岳の雄大な自然を守り、環境保全にも取り組んでいきます。皆様のご支援・ご意見を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

議　員
藤　倉　智恵子
昭和26年９月24日
当選　３　回
党派　無所属

二期八年多くの皆様方に支えられ、女性議員として生活者の視点を大切にし、町民に寄り添う姿勢で、議員活動を展開してまいりました。これもひとえにご支援いただいた方のお陰と感謝申し上げます。本当に有難うございました。

医療や介護の一体化サービスを構築し、高齢者の一人暮らしの不安や負担を軽減させ、また、女性が主に担っている子育て、介護などの支援を厚くして男性も参画し、女性が気持よく働ける環境づくりが大切かと思っております。

「人は周りとの繋がりの中で生かされ、関わりの中で育つ」安心・安全で豊かな地域社会を築き、地域を元気にし、働く場所を創出することが必要であります。「無理・無駄のない、きらり輝くまちづくり」をテーマに活動していきたいと思います。

今議会の構成におきまして、産業建設常任委員会副委員長・議会推薦の農業委員の任を務めさせていただく事となりました。皆様のご意見・ご要望をしっかりお聞きし、務めてまいりたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

議員
藤原啓子
昭和26年6月10日
当選　5　回
党派　無所属

議会議員として17年目を迎えました。

この間、選挙のご支援はもとより、色々な形で、町民・役場職員はじめ、町内外の方々に、ご指導、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

4期目に会社を退職後、高齢者学級・シニアクラブの会員となったことで、高齢者の生活に視点が広がりました。イベントの多くが、高齢者の参加で成り立っています。

町内に友人が少ないが、色々なイベントに参加して仲間ができた、という方もいます。

仲間との交流は、細やかな大切な幸せです。そして町民の交流は、東川の活力です。

一方、参加したくても脚がない、いつまで運転できるのか不安だ、という方も大変多いのです。脚の確保は、冬の北海道で、子ども・高齢者という交通弱者を抱える自治体の、大きな課題です。

旧小学校の跡地利用や、高原温泉の運営など、町民に関心の高い問題もあります。

5期目の私のテーマとして、町民の交流に関する問題を、考えていきたいと思っています。

今後とも、みなさまのご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

議員
安原芳博
昭和24年11月20日
当選　2　回
党派　無所属

この度の町議会議員の改選に当たり、町民の皆様の温かいご支援を頂き心からの感謝とお礼を申し上げます。

小学校の跡地利用は、町民の活動や交流を含めた多機能施設として実施計画が進んでいます。図書館の建設計画も進められています。

又生活者支援プレミアム付商品券の発行も行われます。農林業・商工業・観光業の力強い産業の振興が必要です。経済の再生発展は雇用増を生み税の歳入にとっても大切です。地方創生を考える時（少子高齢化・人口減少・雇用の問題・町の発展）東川町は他町村より一歩進んでいると思いますが、問題も多く出て来ます。70代80代でも一線で活躍されている方もおられ、生涯現役社会の構築が必要です。

国の膨大な借金（赤字国債）のもと、次世代に先送りは出来ないことを共通認識とし、子育てしやすい・子供が心身共に健やかに夢を持って成長できる町・お年寄りにやさしい温もりのある町、共存共栄社会を目指し住民福祉の向上と元気な町創りの為に議会に反映していきたいと思います。

住民皆様のご指導・ご支援をお願いいたします。

議員
堀井義鋪
昭和12年1月5日
当選　1　回
党派　無所属

二〇一五年議会議員選挙で有権者の多くの支持を受け、当選させて頂き有難うございます。

町村議員は小地域の代表ではなく、町内全体から出馬して町の行政全般の住民の代表でなければならないと考えています。

選挙が終われば町民も有権者が投票して当選した議員の方たちに協力する事だと思います。

全国各地方から入植して開拓され、みんなで守ってきた水田、林業、観光地、発展が期待されるキトウシ等この灯を消さないために、一人でも多くの方々に東川町に来て頂くように町づくりに頑張っていきます。

町内で生まれ、育った、ふるさとを応援していくつもりです。

近い将来、新しい進路を求め東川を離れた人も、過去に歩んだ田舎へ帰る人が多くなる事を希望する次第です。

農業、その他事情で故郷をあとにして大きな悲しみ等に出会ったとき、また東川へ来てみて下さい。その様な事も心がけていきます。

北海道でも有数の小学校と共に孫たちが、安心して勉学、スポーツで元気に暮らせる町にしていきます。

後世のためにしっかり見定めて、町政を行ってまいります。

議　員
能　登　暢　吉
昭和30年11月18日
当選　1　回
党派　無所属

地域の皆様、町民の皆様に対しまして、この度は沢山のご支援とご支持を頂き有難うございました。

お陰様で町議会議員としての活動ができます事に心から御礼と感謝を申し上げます。

私は、町民一人一人の声と汗を町政に届けるよう努力し、この町に住んで良かったと思える町づくり人づくり、そして安心で安全に暮らせる豊かな明るい社会を創る為に微力ではありますが頑張って参ります。

一日でも早く議会運営を理解し、より良い運営ができる様に努めて参ります。

高齢化が急速に進み人口の減少が続く中、若い人達が働く為の企業誘致や雇用対策が必要だと思います。一人でも多くの人に住んで頂ける活力ある町づくりを基本とし、未来の子供達が一生涯住んでいられる希望の持てる町を、お年寄りには福祉を中心とした健康維持促進と生き甲斐の保てる環境づくりが大切です。

近年農業情勢が厳しくなって居りますが、都会に出た若い世代の方が故郷を思い両親を想い後継者となって帰ってきて、汗と情熱を燃やしている事を無駄にしてはいけません。町民の皆様一人一人が幸せに暮らせる様、誠意と熱意と行動力をもって努力したいと思います。

今後とも御指導を賜ります様お願い申し上げます。

議　員
畑　中　雅　晴
昭和39年11月５日
当選　1　回
党派　無所属

この度、町議会議員選挙におきまして、地域の皆様そして多くの町民の皆様にご支援いただきまして、初当選させていただき有難うございました。

初議会では、今までにない緊張で身の引き締まる思いでありました。

また、議会構成では総務文教委員の役をいただきました。まず議会運営及び委員会審議を理解し、議員の資質を高め、自分自身の向上はもとより、先輩各位のご指導を仰ぎながら職務を果たそうと思っています。

住みよい、より良い東川を目指して、子育て世代の支援や、地域と家庭と学校のつながりを大切にした教育の充実を目指します。また、情報や問題を共有した中で地場産業の発展、住民福祉のさらなる向上を目指して、全力で取り組む所存です。

地域の中で多様化する住民の意思を反映させ、討論を通じて東川町の統一的意思にまで高めるのは議会だけという確信に立って議会活動に取り組みます。

先例や慣行にとらわれることなく新たな試みを打ち出せるチャレンジ精神を持って行きたいと思っています。

与えられた任期を頑張ります、町民皆様のご支援をよろしくお願いします。

議　員
正　満　正　義
昭和25年８月10日
当選　2　回
党派　無所属

この度、町議会議員選挙の改選に当たり町民の方々や地域の皆様のご支援により二度目の当選をさせて頂いた事にあつくお礼を申し上げます。

一期目を振り返ってみますと、何も分からなく理解に苦しみながらの、あっと言う間の一期目でした。

二期目になりましたので、町民ひとり一人が豊かさを感じるまちづくりをモットーとして頑張りたいと思います。

東川の農業が安心・安全な生産物を消費者に信頼してもらえる産地形成を図り、次世代に希望の持てる農業体制を目指して頑張ります。

少子高齢化が進む昨今、高齢者の一人暮らしの方が多くなっております。高齢者の方には安心して暮らせる福祉の町づくりを目指して頑張ります。

自然環境と調和のとれる町に、自然な緑と田園地域の特性を生かし、町内各地域が均衡のとれる田園住宅の導入による過疎化対策に力を注ぎます。

町民の方々や地域の皆様の声を行政に伝えるパイプ役として頑張りたいと思いますので、気軽に皆様方のご意見をお聞かせ下さい。

今後とも町民の方々や地域の皆様のご指導のほどをよろしくお願い致します。

第1回定例会の主な質疑（平成27年3月10・11日）

町職員定数条例の一部改正

質問（藤原啓子）教育長が一般職で社会保険料等も含まれていましたか。

答弁（企画総務課長）一般職ですから掛かっています。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

質問（藤原啓子）新旧対照表の委員長職務代理者の月額が教育長の給与にプラス支給されていましたか。

答弁（企画総務課長）委員長職務代理者は別に選定されていますので教育長とは、別な方に払われています。

町立公園条例の一部改正

質問（藤原啓子）東部地区公園の名称はどのように決定しましたか。

答弁（都市建設課長）辺地地区に馴染む名称としてつけました。

一般会計補正予算

質問（藤倉智恵子）天人峡地区引湯施設整備事業の未実施について、次年度の施工はどうなっていますか。

答弁（都市建設課長）27年度当初予算に計上しています。

質問（藤倉智恵子）小学校4校の光熱水費の内訳を教えてください。

答弁（教育課長）東小は500万円、第1から第3小は、140万円です。

質問（藤原啓子）以前から行われていた事業を地方創生先行型事業にすることで町の持ち出しが減りますか。

答弁（企画総務課長）一般財源なしの10／10の交付金で実施できます。

質問（鶴間松彦）地方消費税が大幅に減額されたと聞きましたが今回提案されていません。

答弁（企画総務課長）地方消費交付金が減額されることは確認しましたが、予算提出時に間に合いませんでした。

質問（鶴間松彦）振興公社に対する安定化補助金は北工学園からの補助が少ないからか、様々経費が増えて補助するのですか。

答弁（長原副町長）パークゴルフ場の天候不順、国際交流会館の収益減及び高原ホテルの誘客活動費分の赤字があり、補助金で支援するものです。

質問（鶴間松彦）プレミアム付商品券等（6500円を5000円で販売）は、町民は誰でも買えますか、制限はありますか。

答弁（産業振興課長）プレミアム付商品券はその通りで30％のプレミアムです。町民・町民以外でも買えます。限度額は1万円の予定です。

質問（鶴間松彦）臨時福祉給付金の減額は、対象者に支給されなかったと理解していいですか。

答弁（保健福祉課長）当初把握していた対象者より人数が減ったのと督促や広報でお知らせしましたが、申請されなかったものです。

質問（高橋昭典）高齢者ハイヤー利用助成券の利用が低調な内容を教えてください。

答弁（保健福祉課長）当初300人の予算措置をしていましたが、希望者実績は232人でした。

質問（高橋昭典）児童手当支給事業は人数を把握されていると思いますが、なぜ減額補正になったのですか。

答弁（保健福祉課長）転出等による人数減です。

質問（長峰毅八）国際交流基金の減額は、タイの留学生が減ったからですか。

答弁（企画総務課長）国際交流基金からの助成金が入らなかったことによる減額です。

指定管理者の指定

質問（藤原啓子）高齢者いきいきセンターの管理委託は1・2階の全部ですか。

答弁（企画総務課長）1階部分になります。

第3回全員協議会

H27.3.3	1）第1回定例会提出議案について 2）平成27年度予算の概要について 3）まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について 4）旧東川小学校跡地利用について

第4回全員協議会

H27.4.6	1）第2回臨時会提出議案（補正予算等）について

（平成27年３月10日～17日）

議　決　の　内　容	結　果
・5,912,000千円（前年度比10.44％減）とする ・192,200千円（前年度比12.46％増）とする ・359,800千円（前年度比4.62％増）とする	原案可決 〃 〃
・498千円を追加し、総額7,015,517千円とする ・2,673千円を減額し、総額168,227千円とする ・4,600千円を追加し、総額354,043千円とする	原案可決 〃 〃
・町づくりを進める上で根本となる、住民・議会・町それぞれの役割と責務を明らかにし、住民自治を実現するための最上位に位置付ける条例 ・子ども子育て関連３法の成立を受け、新たな支援制度がスタートし、関連施設や設備・運営について国の定める基準を踏まえ、町の条例により新たに規定する ・　〃 ・　〃 ・国の法律改正により、従来の教育委員長と教育長を一本化した新たな教育長が置かれることになったため、所要の改正を行なう ・児童福祉法の改正により、本事業を実施する場合の設備、運営基準を町の条例で新たに規定する ・行政手続法の改正に伴う、行政指導等における規定の改正を行う ・新教育長制度への移行に伴い、特別職に位置付となるため、所要の改正を行う ・新教育長制度への移行に伴い、現在の教育委員長及び教育委員長職務代理制度が廃止となるため、所要の改正を行う ・新教育長制度への移行に伴い、特別職に位置付となるため、副町長と同様の待遇に改正する ・平成24年度から実施している地籍調査の成果閲覧が新年度から開始されることに伴い、閲覧・交付に関する手数料を追加する ・低所得者及び子育て支援に配慮した保育料とするため、負担能力に応じた保育料に改正する ・新東川小学校に隣接する「東部地区公園」に整備した施設の使用料等を追加する ・子ども子育て関連３法の成立を受け、公私立問わず支給認定ごとに一律の保育料となることから、幼児センターの保育料を別条例で定めるため、所要の改正を行う ・地域交流センターの施設使用料について、個人利用の使用料について追加する ・新教育長制度への移行に伴い、委員会条例の出席説明要求の規定を改正する	継続審査 原案可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
・一般功労表彰５名（石川正義氏、佐藤ヒサ子氏、大城ナツ氏、西原直江氏、中田ハルエ氏）、職員表彰２名（松倉利充氏、菅沼輝男氏）	原案同意
・新教育長制度への移行に伴う組合規約の改正 ・各地区コミュニティセンターなど16施設について指定管理を行う（５年間）	原案可決 〃
・総務文教常任委員長より報告 ・議会報編集特別委員長より報告	報告済 〃

（平成27年３月31日）

議　決　の　内　容	結　果
・高橋昭典議員が当選 ・大澤　聰議員が当選 ・高橋議長、大澤副議長、鶴間総務文教常任委員長が当選 ・　〃 ・　〃 ・　〃	当選決定 〃 〃 〃 〃 〃
・任期満了により、議会選出監査委員として藤原啓子議員の選任に同意	原案同意
・9,054千円を追加し、総額7,024,571千円とする	原案可決
・議席を抽選し、議長が指定する ・各常任委員を議長が指名する（正副委員長は、委員会で選出） ・議会運営委員を議長が指名する（正副委員長は、委員会で選出） ・特別委員会を設置し、委員を議長が指名する（正副委員長は、委員会で選出） ・議会推薦の農業委員　正満正義議員の辞任について許可 ・議会推薦の農業委員を１名とし、藤倉智恵子議員を推薦 ・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	議長指定 議長指名 議長指名 〃 許　可 原案可決 承　認

第１回定例会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
当初予算	・平成27年度　東川町一般会計予算について ・平成27年度　東川町公共下水道事業特別会計予算について ・平成27年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計予算について
補正予算	・平成26年度　東川町一般会計補正予算（第12号）について ・平成26年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）について ・平成26年度　東川町国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第３号）について
条例等	・写真文化首都「写真の町」東川町まちづくり基本条例の制定について ・東川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について ・東川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について ・東川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用者負担に関する条例の制定について ・教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について ・東川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について ・東川町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町手数料条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町留守家庭学童保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町立公園条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町幼児センター条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町地域交流センター条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・被表彰者の推薦について
その他案件	・上川教育研修センター組合規約の一部変更について ・指定管理者の指定について
その他	・東川小学校移転後の状況について ・議会報編集特別委員会の活動経過報告について

第１回臨時会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
選　　挙	・議長の選挙について ・副議長の選挙について ・大雪消防組合議会議員の選挙について ・大雪清掃組合議会議員の選挙について ・大雪葬斎組合議会議員の選挙について ・大雪地区広域連合議会議員の選挙について
人事案件	・監査委員の選任について
補正予算	・平成26年度　東川町一般会計補正予算（第13号）について
その他案件	・議席の指定について ・常任委員会委員の選任について ・議会運営委員会委員の選任について ・議会報編集特別委員会の設置及び委員の選任について ・農業委員会委員の辞任について ・農業委員会委員の推薦について ・閉会中の所管事務等調査の申し出

議会日誌

平成27年２月

７日　旭川・東川町出身会新年交礼会(旭川市)
17日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
19日　上川町村議会議長会定期総会（比布町）
25日　全道監査委員協議会定例大会（札幌市）
28日　東川町長・町議会議員選挙　投・開票日

３月

３日　平成27年 第３回全員協議会
　　定例会前各常任委員会
４日　大雪地区広域連合議会 全員協議会
５日　議会運営委員会
10日　平成27年東川町議会第１回定例会（１日目）
11日　平成27年東川町議会第１回定例会（２日目）
12日　常任委員会 議案調査
16日　議会運営委員会
　　常任委員会 議案調査
17日　平成27年東川町議会第１回定例会（３日目）
19日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
25日　一部事務組合・大雪地区広域連合定例会（美瑛町）
　　新任議員説明会
31日　第１回臨時会（初議会）

４月

２日　正副議長就任挨拶まわり（中央部議会等）
６日　平成27年第４回全員協議会
９日　平成27年東川町議会第２回臨時会
10日　議会報編集特別委員会
16日　議会報編集特別委員会
21日　例月公金出納検査（東川町）
23日　議会報編集特別委員会
28日　総文・産建常任委員会合同所管事務調査

※写真はキトウシ森林公園の花々

議会報の編集は、私たちが今後2年間担当します。
議会活動や議会報について、ご意見ご要望をお寄せください。

議会報編集特別委員会

委員長　藤原　啓子
副委員長　薦田　敏次
委　員　鶴間　松彦
　　堀井　義鋪
　　能登　暢吉
　　畑中　雅晴

編集後記

自治体の自主自立の取組に国が支援する「地方創生」総合戦略の一つに、都市の若者が地方に移住し、活性化に貢献する「地域おこし協力隊」がある▼町は、教育・子育支援・農業・観光・写真・家具クラフトの事業に、13人を採用する。３月定例の骨格予算は５人であったが、９日臨時会に早くも増額補正である▼地方創生は他にも、産業・医療・市街地の活性化・生活交通・祭・伝統文化・安心安全のまちづくりなどに支援がある。町は「写真文化首都創生課」を作って計画を策定する▼今後何の種が蒔かれるのか、町民福祉の花が咲くのが楽しみである。